

2012年7月2日
郵便局株式会社 南関東支社

オリジナル フレーム切手『武家の古都・鎌倉』の販売開始

郵便局株式会社 南関東支社（神奈川県横浜市中区、支社長 谷川 潤一）は、下記のオリジナルフレーム切手の販売を開始します。

このオリジナル フレーム切手は、平成 24 年 1 月、日本政府から世界遺産登録に向けて推薦を受けた「武家の古都・鎌倉」を題材に作成しています。地域とともに歩む郵便局として、鎌倉の歴史的遺産の価値を伝え、世界遺産登録を応援するために発行するものです。

本フレーム切手は、下記の郵便局で限定販売します。

記

1 切手の概要

名称	武家の古都・鎌倉
販売開始日	2012年7月13日（金）
販売部数	2,000部（予定）
販売郵便局	鎌倉市内の郵便局（22局）
シート構成	1シート 80円切手×10枚
販売単位	シート単位で販売します
販売価格	1シート 1,200円

2 切手デザイン

別添のとおり

3 その他

本フレーム切手は、通信販売を行いません。販売郵便局の窓口でお買い求めください。

以上

【報道関係の方のお問い合わせ先】

郵便局株式会社南関東支社企画部（広報担当）

電話：045-228-2503

【お客さまのお問い合わせ先】

郵便局株式会社南関東支社営業本部（物販担当）

電話：045-228-2547

※「フレーム切手」は郵便事業株式会社の登録商標です。

【参考】

鎌倉は、日本における古代から中世への転換期において源頼朝をリーダーとする武家が、日本で初めての武家政権を樹立し、それまでの貴族支配に替わる武家の支配を築いた場所です。

武家は、「三方を山に囲まれ、一方が海に開く」要害的な自然地形に、当時の土木技術を駆使して社寺、武家館、切通（交通路）、港などの重要な拠点を機能的に配置し、山稜部と一体となった独特的な政権所在地を形成しました。

また、自らの倫理観や行動規範といった精神的基盤を醸成し、貴族文化や禅宗を初めとする中国文化との交流などを背景として、独自の文化を築き上げました。

「武家の古都・鎌倉」の資産は、山稜部と、その山裾や谷間などに造られた11の社寺、10の考古学的遺跡（寺院跡、武家館跡、切通、港跡）から構成されており、平成25年の世界遺産登録をめざして活動が続けられています。

